

第6 1回沖縄県身体障害者スポーツ大会実施要綱

1. 目 的

大会の開催は、県内の障害者がこの大会に参加し、競技等を通じスポーツの楽しさを体験するとともに、県民の障害に対する理解を深め、障害者の社会参加の推進に寄与することを目的とする。

2. 主 催

沖縄県 市町村 （社福）沖縄県身体障害者福祉協会

3. 後 援 ＜ 順不同 ＞

沖縄県市長会 沖縄県町村会 （社福）沖縄県社会福祉協議会 沖縄県教育委員会
（社福）沖縄県視覚障害者福祉協会 （一社）沖縄県聴覚障害者協会
（公社）沖縄県精神保健福祉会連合会 （一社）日本精神科看護協会 沖縄県支部
（公社）沖縄県手をつなぐ育成会 （公財）沖縄県スポーツ協会 （一社）沖縄陸上競技協会
（一社）沖縄県水泳連盟 沖縄県卓球協会 沖縄県アーチェリー協会
沖縄県身体障害者アーチェリー協会 （特非）沖縄県障がい者スポーツ協会
沖縄県障害者フライングディスク協会 沖縄県パラスポーツ指導者協議会

4. 協 賛 ＜ 順不同 ＞

（株）琉球新報社 （株）沖縄タイムス社 琉球放送（株） 沖縄テレビ放送（株）
（株）ラジオ沖縄 NHK沖縄放送局 （株）エフエム沖縄 琉球朝日放送（株）
宮古テレビ（株） 宮古毎日新聞社 八重山毎日新聞 （株）宮古新報 （株）八重山日報社
石垣ケーブルテレビ（株）

5. 開催期日・会場

開閉会式が行われる令和7年10月11日（土）を本大会とする。

開 催 期 日	実 施 競 技	会 場 名
令和7年8月10日（日）	アーチェリー競技	沖縄県立鏡が丘特別支援学校
令和7年8月23日（土）	フライングディスク競技	沖縄市陸上競技場（コザ運動公園）
令和7年9月13日（土）	卓 球 競 技	豊見城市民体育館
令和7年9月27日（土）	水 泳 競 技	奥武山公園プール
令和7年10月11日（土）	開会式・閉会式	沖縄市陸上競技場（コザ運動公園）
	陸 上 競 技	

6. 参加者及び出場資格

- (1) 出場選手は次の条件を満たす者とする。
- ア. 令和7年4月1日現在、13歳以上の者。
 - イ. 県内に居住し、身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条の規定により身体障害者手帳の交付を受けた者。
 - ウ. その他の障害者手帳の交付を受けたもので参加を希望する者は、主催者において決定する。
 - エ. 大会の競技出場について、各福祉事務所、団体等の長が認めた者。
- (2) 令和7年4月1日現在、6歳以上12歳以下の者を「オープン参加」として認める。

7. 予定人員

選手 約800人
役員 約260人、ボランティア・補助員 240人

8. 競技規則

適用する競技規則は、令和7年度全国障害者スポーツ大会競技規則及び別に定める競技別実施要領（一部県大会特別規定）によるものとする。

9. 競技・種目及び障害・年齢区分

- (1) 競技・種目及び障害区分は、大会競技規則第2条2＜別表1＞「全国障害者スポーツ大会競技・種目」に準ずる。
- (2) 大会競技規則第2条3に定める年齢区分の基準日は、令和7年4月1日とする。
- (3) アーチェリー競技及びフライングディスク競技を除き、年齢を1部＜39歳以下＞、2部＜40歳以上＞に分けて競技する。
- (4) 競技種目

ア. 13歳以上

(※) は、県大会独自の種目

競技群		競技種目
アーチェリー		50m・30mラウンド、30mダブルラウンド、 20mダブルラウンド (※)、15mダブルラウンド (※) 10mダブルラウンド (※)
水泳		自由形、背泳ぎ、平泳ぎ、バタフライ（各 25m、50m）
フライングディスク		ディスタンス スタンディング（立位） シットイング（座位） アキュラシー ディスリート・スリー（3m）(※) ディスリート・ファイブ（5m） ディスリート・セブン（7m）
卓球		一般卓球、サウンドテーブルテニス
陸上	競走	スラローム、50m、100m、200m、400m、800m、 1500m、障害別 4×100mリレー (※)
	投てき	砲丸投、ソフトボール投、ジャベリックスロー、 ビーンバッグ投
	跳躍	走高跳、立幅跳、走幅跳

イ. 6歳以上12歳以下、障害区分を問わない：オープン参加種目

競技群		競技種目
水泳		自由形、背泳ぎ、平泳ぎ、バタフライ（各25m）
フライングディスク		アキュラシー ディスリート・スリー（3m）（※） ディスリート・ファイブ（5m）
卓球		一般卓球
陸上	競走	スラローム、50m、障害別4×100mリレー（※）

10. 競技運営

- （1）各競技における運営事項は、競技別実施要領に定める。
- （2）競技参加が少なかった種目については種目を中止することがある。ただし、成立しなかった種目については、申込団体と調整を行う。
- （3）出場選手が少ない競技・種目は、異なる障害区分または他の年齢区分の選手が同時に競技を行うことがある。この場合、順位の決定及び表彰は障害区分及び年齢区分別に行う。
- （4）その他、必要な事項は別に定める。

11. 参加方法

- （1）オープン参加含む参加希望者は、在住の市町村（福祉課等）へ申し込むこと。なお、団体対抗競技実施要領に定める障害者支援施設利用者は施設へ申し込むことも出来る。
- （2）各福祉事務所、施設等の申込みに基づき、主催者において決定する。
- （3）申込み後の変更は原則として認めないものとする。

12. 参加費用

大会参加費は無料とする。ただし、参加に係る費用（交通費等）については、各団体・個人において負担するものとする。

13. 申込書・期限

- （1）選手団の担当者（各福祉事務所、施設等）は沖身協ホームページから参加申込書をダウンロードし、必要事項を記入後、期日までにメールで申し込むものとする。
- （2）期日：令和7年7月11日（金）
- （3）提出先メールアドレス：jimukyok19@okisin.jp

14. 番号布

- （1）番号布（ナンバーカード）は主催者が準備し、配布する。
- （2）障害が重複している場合には、出場する障害部門の色の番号布を使用し、布の下端5cmに他の重複する障害部門の色を表示する。
- （3）選手は競技服装に必ず番号布を付けるものとする。
- （4）番号布の布地の色は障害別に次のとおり色分けし、数字は黒色とする。

ア	肢体不自由	白色
イ	視覚障害	緑色
ウ	聴覚・平衡・音声・言語機能障害	黄色
エ	内部障害（ぼうこう又は直腸機能障害）	水色
オ	知的障害	桃色
カ	精神障害	茶色

15. 健康・安全管理

- （１）参加者の健康・安全面については、選手団及び参加者で十分配慮すること。大会開催中の怪我、事故等について主催者は応急の処置のみを行う。
- （２）損害保険等については、全社協のボランティア行事用保険に加入する。なお、対象は選手および大会運営役員とする（選手団の引率役員やボランティア等は対象外）。

16. 開催の可否決定

- （１）競技会開催時までには又は会期中に不慮の災害にあった場合、又はあうことが予測される場合、荒天時・災害時意思決定委員会を開催する。
- （２）荒天時および災害時（感染症含む）等の取り扱いは、沖縄県身体障害者スポーツ大会荒天時取扱要領および沖縄県の障害者スポーツ大会等災害発生時取扱要領に定める。

17. 大会役員

大会役員は概ね次のとおりとする。

大会名誉会長	沖縄県知事
大会長	沖縄県身体障害者福祉協会会長
大会副会長	開催地市町村長
	沖縄県生活福祉部長
	沖縄県障がい者スポーツ協会理事長
	沖縄県視覚障害者福祉協会会長
	沖縄県聴覚障害者協会会長
大会委員	沖縄県生活福祉部福祉統括監
	沖縄県生活福祉部障害福祉課長
	沖縄県身体障害者福祉協会常務理事

18. その他

- （１）撮影された写真・映像は報道または広報に使用されることもあるため、申込書の提出を以て、公開に関する取扱いについて承諾したものとする。
- （２）この要綱に定めるもののほか、運営上必要な事項は、競技ごとに競技運営協力団体と協議のうえ、競技別実施要領に定める。

19. 事務局（申込先・問合せ先）

社会福祉法人 沖縄県身体障害者福祉協会 （担当：伊敷・安里）

〒901-0516 八重瀬町字仲座 1038-1

TEL 098-851-3455 FAX 098-851-3855 MAIL jimukyok19@okisin.jp（伊敷）